

価値創造モデル

オリンパスの価値創造モデル

OUR PURPOSE  
私たちの存在意義

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling

世界の人々の健康と安心、  
心の豊かさの実現

Strength

医療提供者との信頼関係をベースに築いた  
強固なポジション

- ▶ 消化器内視鏡のグローバルシェア約70%
- ▶ ドクターへのトレーニングサポートをグローバルに実施
- ▶ 新興国市場に先駆けて参入し、医師との信頼関係を構築
  - ・1972年の日中国交正常化以来、中国市場にて約50年の信頼関係を構築
  - ・1975年にシンガポールに駐在員事務所を設置

グローバルかつ強固な経営基盤

- ▶ 医療従事者にトレーニングの場を提供することを目的とした、トレーニングセンター約17拠点を
- ▶ 世界の医療機器メーカーの中で業界トップクラスのサービスネットワークを構築
- ▶ 治療機器事業のグローバル統括拠点を米国に設置
- ▶ 信用格付A+(R&I)、BBB+(S&P)、Baa2(Moody's)
- ▶ 機関投資家・証券アナリストとの対話約960回\*1

高品質で先進的な製品を生み出す技術力

- ▶ 世界で最も革新的な企業トップ100に11回選出
- ▶ 質の高い知的財産ポートフォリオを構築し、オリンパスグループで約16,000件\*2の特許を保有
- ▶ 創業以来築いてきた強固なノウハウ・光学技術
- ▶ 多品種少量生産を実現するものづくり力

高い専門性を有した多様な人材

- ▶ グローバル・メドテックカンパニーを目指し、グローバルポジションに専門性の高いタレントを採用
  - ・治療機器事業を中心としたさらなる成長のため、事業開発の専門部門を米国に設置、タレントを採用し、複数のM&Aを実施
- ▶ 実行力強化研修に累計約6,600名が参加、グローバルコミュニケーション力強化プログラムに累計約6,700名が参加\*2



Strategy

Company Strategy

～グローバル・メドテックカンパニーとしての成長～

患者さんの安全と持続可能性

- 1 米国食品医薬品局(FDA)に対するコミットメントを遂行し、各国規制当局との信頼関係を構築
- 2 健やかな組織文化とESGを推進

成長のためのイノベーション

- 3 オリンパスブランドの強化、顧客体験価値向上
- 4 戦略的なイノベーション・買収を通じた事業の成長

生産性の向上

- 5 患者さんの安全と製品の品質を重視したパフォーマンスの高い組織を構築
- 6 効率的で無駄のない経営

長期的かつ持続可能な成長を実現する  
戦略的な価値の源泉

事業拡大とグローバル展開	ケア・パスウェイの強化
戦略的M&A	インテリジェント内視鏡医療エコシステム

オリンパスのマテリアリティ

- ・医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上
- ・コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力
- ・責任あるサプライチェーンの推進
- ・健やかな組織文化
- ・社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献
- ・コーポレートガバナンス

① オリンパスのマテリアリティの詳細はP.38へ

Social Outcome

医療提供者を通じた、患者さん、国・地域・社会への価値提供

患者さん

- ・患者さんの安全を常に最優先とし、世界の人々の健康に貢献
- ・早期診断・低侵襲治療をベースに、対象疾患における医療水準の向上に貢献し、患者さんの体験価値・アウトカムを改善

100 5,000万件

適応可能な疾患数\*3 大腸内視鏡件数/年\*4

医療提供者

- ・早期発見や診断、ステージ分類、治療、予後のケアに至るまでのケア・パスウェイの中で、顧客体験価値の向上に貢献
- ・早期診断・低侵襲治療により、医療効率・医療経済性の向上に貢献
- ・医療現場の課題解決に向けた独自のソリューションを提供

国・地域・社会

- ・早期診断・低侵襲治療により、医療費の抑制に貢献
- ・医療の未来へ貢献

医療提供者との協業により  
築いた  
信頼関係

- ・製品への改善・要望をフィードバック

- ・豊富なニーズを把握し、患者さんのアウトカム向上に寄与する製品の提供
- ・手技開発のサポート

- ・内視鏡事業・治療機器事業の成長

Financial KPI

売上高成長率\*5

約 5%  
CAGR from FY2023

Endoscopic Solutions Division

ESD 5%

Therapeutic Solutions Division

TSD 5%超

営業利益率\*6

約 20%

EPS成長率\*6

約 8%  
CAGR from FY2023

\*1 2023年3月期  
\*2 2023年3月時点。科学事業除く  
\*3 当社はさまざまな治療に役立つ医療機器を提供しており、2023年3月現在100の疾患に適応可能  
\*4 自社調べ。グローバル：米国、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国、ポーランド、日本、中国、韓国、オーストラリア、インド、ロシア/2019年時点

\*5 為替前提を固定  
\*6 特殊要因調整後  
・その他の収益および費用等を除く  
・為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用